

## 第696回番組審議会報告

2025年3月4日開催

### ■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、木戸哲委員、小島幸保委員  
津村記久子委員（書面）、増山実委員、安田真奈委員

### ■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井常務、磯澤取締役、  
北野取締役、中野取締役、田淵総合編成局長、  
奥田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

### ◆議事の概要

2024年度最終の審議会となるため、個別の番組の審議ではなく、  
「MBSの番組・放送全般」について意見交換した。

#### 【各委員の主な意見は次の通り】

##### 『よんチャンTV』

\*スタジオのやりとりがすごく落ち着いていて安心して見られる。出演者がわからないことは「わからないから教えてください」という感じで、いい意味ですごく緩い雰囲気が伝わってくる。

\*山崎アナウンサーの「自転車たび」が大好きで、あのコーナーを見ると関西っていいところだなと感じる。

##### 『魔法のレストラン』（2月19日）

\*大阪と東京の好きなおでんだねのランキングで関西人が特にポン酢が好きだと初めて知った。豚まん、肉まん、おでんなど、全体的に庶民に親しみのある話題で楽しかった。

##### 『住人十色』（2月22日）

\*家族全員が顔出しでお金のお話をしていることが改めて大胆だと思った。この

回では、コの字にして採光を増やすというアイデアが学びになった。

『映像' 25』

「神戸生まれ、震災を知らない」（1月26日）

- \* 震災の年に神戸で生まれた清水アナウンサーが息子を亡くしたお母さんから自分と誕生日が同じだと聞かされた時の表情が、言葉では言いあらわせないような感情が顔に出ていてとてもいい場面だと思った。

『映像' 25』

「私らしく～初のアルツハイマー病治療薬と共に～」(2月23日)

- \* 暗いところばかりではなくて明るい面も出し、認知症の人の生活のありのままを描いていた。取材者の存在を一切出さずにひたすら淡々と撮っているのがとてもよかった。
- \* レカネマブの効果、認知症との付き合い方について、希望を持たせすぎること、無為に脅すこともなく、等身大で描いている。アルツハイマー型認知症について理解を深める入り口になってくれる番組だった。

『刻み続ける1995年1月17日』

- \* 防災や災害報道、選挙、政治に関しては、取材力をもとに正しい情報を発信していくという価値がこれからますます重要視されると思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。
- \* 避難所での性加害を取り上げるか取り上げないか何か判断基準はあるのか。例えば放送時間との兼ね合いはあるのかなど教えていただきたい。
- \* スタジオにもっと多角的な意見を言う人を配置すべきではないか。

『悪役令嬢転生おじさん』

- \* 中年男性の社会的なコミュニケーション力が非常に生かされるストーリーであらゆる世代にとってためになり、笑える番組だ。

- \* ゴールデンタイムからアニメが消えたのは、家族で見る時間帯、あるいは子どもがいる家庭でテレビを見ることがなくなったからだと思うが、19時台にみんな横並びでバラエティをやっているということで果たしていいのかと感じる。

## 『その他』

- \* アナウンサーや記者が批判の対象になった時に会社としてどのようにフォローして守っていくのか。
- \* AIが今後テレビ局の番組制作に与えそうな影響や近い未来で想定していることがあったら教えていただきたい。
- \* AIを使ってリアルな動画が簡単に作成することができる時代に、ニュース番組で視聴者提供のSNSから話題になった映像について信憑性のチェックがかなり難しくなるのではないか。
- \* 配信と違って地上波のいいところは、流れてくるのをたまたま見ることが大きな利点だと思っている。もっと再放送をどんどんやっていったらいいのでは。
- \* 地上波の魅力はまさにセレンディピティーで、偶然出会う幸運にあふれていることだと思う。たまたまテレビをつけたらいい番組を見たという体験がテレビとのつき合い方の重要な要素になるだろう。

## 【番組制作者、会社側の説明、質問への回答】

- \* ご家族でテレビを見る時間帯に性加害のような問題を取り上げない方がいいという意見もあるが、あくまで必要なニュースは伝えるという方針である。
- \* カスハラ対応に関しては、これからの時代すごく大事だと認識しており、アナウンサーや記者を守っていく手立てを日々検討している。
- \* 視聴者提供の動画については、できる限り投稿した人に直接連絡をとって確認している。

\*現代は国民的アニメがなかなか生まれにくくなっているが、今後よりタイムテーブルを特徴づけていくものは何かと考えるとゴールデンタイムのアニメの可能性が全然ないわけではない。

以 上